

令和5年度 安全衛生表彰式

「大阪発・新4S運動推進大会」

「安全」は人々を満足させ、
輝く笑顔にします



大阪発・新4S運動

ゼロ災大阪

Safety 安全 Satisfy 満足 Shine 輝く Smile 笑顔

「安全」は人々を満足させ、輝く笑顔にします
Safety brings people Satisfaction and Shining Smiles.

Osaka
フォーS おおさか君

家庭や職場に
咲かせよう笑顔の花

4つの活動に
取り組もう!

安全見える化活動 安全Study活動
リスク評価推進活動 命綱GO活動

（主催者）大阪労働局・管内各労働基準監督署 （協賛者）各労働災害防止団体

令和5年度版

日時 令和5年7月3日(月)13:30~16:30

場所 エル・おおさか エル・シアター(2階大ホール)
(大阪市中央区北浜東3-14)

主催 全国安全週間大阪大会運営会議

構成機関 大阪労働局・各労働基準監督署

公益社団法人大阪労働基準連合会・各地区労働基準協会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 大阪府支部

林業・木材製造業労働災害防止協会 大阪府支部

中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター

一般社団法人日本ボイラ協会 大阪支部

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 大阪府支部

建設業労働災害防止協会 大阪府支部

港湾貨物運送事業労働災害防止協会 大阪総支部

中央労働災害防止協会 近畿安全衛生サービスセンター

中央労働災害防止協会 大阪安全衛生教育センター

一般社団法人日本クレーン協会 近畿支部

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会 大阪支部

プログラム

開 場 <13:00>
開 会 <13:30>

- 1 開 会 の 辞 建設業労働災害防止協会大阪府支部 副支部長 中島 一郎
 - 2 主 催 者 挨 拶 大 阪 労 働 局 長 木原 亜紀生
 - 3 来 賓 紹 介 大 阪 府 知 事 吉村 洋文 氏
大 阪 市 長 横山 英幸 氏
日本労働組合総連合会大阪府連合会 会長 田中 宏和 氏
公益社団法人関西経済連合会 会長 松本 正義 氏
 - 4 主 催 者 紹 介
 - 5 安 全 衛 生 表 彰 厚生労働大臣賞披露及び伝達授与
大 阪 労 働 局 長 賞 授 与
 - 6 大 会 宣 言 (一社)日本クレーン協会近畿支部 専務理事 窪田 浩和
..... 休 憩 (15分間).....
 - 7 基 調 講 演 「これからの安全衛生行政について」
大阪労働局 労働基準部長 樋口 雄一
 - 8 事 例 発 表 「株式会社大豊製作所における安全衛生活動について」
株式会社大豊製作所 代表取締役 安田 浩治 氏
 - 9 特 別 講 演 「世の中を変えたQRコードの開発・進化と普及活動の取組み」
株式会社デンソーウェーブ 主席技師
愛知県幸田ものづくり研究センター 技術顧問(兼任) 原 昌宏 氏
 - 10 閉 会 の 辞 中央労働災害防止協会近畿安全衛生サービスセンター 所長 矢野 総一郎
- 閉 会 <16:30>

令和5年度 安全衛生表彰 受賞者名簿

厚生労働大臣賞

表彰区分	表彰基準	事業場名	所轄
優良賞	安全確保 対策	大林組・浅沼組特定建設工事共同企業体 東海道線支線南I地区T新設他工事	天満
		当工事は、大阪最後の一等地と称されるうめきた2期エリアの開発に先駆けて、地上を走る東海道線支線を地下化する工事で、関心も高いプロジェクトであり、第三者への配慮が特に重要となった。その中で、延労働時間119万時間以上の全工期無事故無災害を達成した。 着工時より、当事業エリアでは、複数の工事が計画され、事業を安全・安心かつ円滑に遂行するためには、工事の垣根を越えた調整を行う必要があった。そのような中、当工事が率先し、調整を行うための連絡協議会を発足させ、5年にわたり幹事工区を担ってきた。	
		株式会社竹中工務店大阪本店 大阪はびきの医療センター新病院建設工事	羽曳野
		鹿島建設株式会社関西支店 (仮称)健都イノベーションパーク施設新築工事	茨木
		当工事は、国際級の複合医療産業拠点の形成を図るべく、「健康と医療」をキーワードに先端的な研究開発を行う企業等の研究施設を集積させる場である「健都イノベーションパーク」内に、開放された多目的ホールやオープンラボを有する会社の本社ビルを新築する工事である。 短工期であり、建設業技能労働者が漸減する中、現場における安全性を高めるためと作業の省力化を図るため、工場における労働集約化を進め、現場での高所作業等を削減した。さらに、BIM・WEBカメラ・各検査アプリ等のICT技術を多用して生産性を高め、労働時間短縮化を図っている。その結果、延労働時間を70万時間余りまで大幅に削減のうえ全工期無災害を達成した。	
奨励賞	安全確保 対策	株式会社竹中工務店大阪本店 心齋橋フジビルプラザビル解体工事	大阪中央
		当工事は、大阪のメインストリートである御堂筋及び、長堀通に面した「心齋橋」の交差点に位置する視認性の高い立地であり、大阪メトロ御堂筋線長堀鶴見緑地線「心齋橋」駅へ直結しているに加え、長年に渡り「心齋橋」エリアの賑わいをけん引してきた建物4棟を解体する工事である。周辺環境等に支障が出ない様、事前の綿密な工事計画が必要であった。 粉じん抑制等に十分に留意する必要がある中、想いを共有することで、延工事期間28か月、延労働時間35.7万時間という異例の長期間・長時間に亘る解体工事を全工期無事故無災害で達成した。	

表彰区分	表彰基準	事業場名	所轄
奨励賞	安全確保 対策	株式会社竹中工務店大阪本店 大阪中部地区FMセンター	天満
		当センターでは、各所に点在する膨大な小規模工事かつ建築主の要望に応じた多種多様な改修工事を、稼働中のビル内で第三者にも十分配慮が必要となる中で施工することが特徴である。これら多種多様な小規模工事を管理する組織として、創意工夫を行いながら、現地現物現時での安全衛生管理を徹底した。現在においても、店社、FMセンター、事業主、職長、作業員が一体となりベクトルを合わせながら安全衛生活動を展開し、リスクが多く潜む改修工事において、平成30年3月から長期にわたり小規模工事を積み重ね、無災害を続け、令和5年3月時点においては170万時間を超え、現在も無災害を継続中である。	

表彰区分	氏名	経歴	所轄
功績賞	森本克之	建設業労働災害防止協会 大阪府支部 前副支部長	大阪中央

大阪労働局長賞

表彰区分	表彰基準	事業場名	所轄
優良賞	安全確保 対策	株式会社 銭高組画 (仮称)京町堀1丁目計画	大阪西
		当現場は、オフィスビル等が多数ある四ツ橋筋に面し、かつ京町堀の中心地に計画され、また、狭小地の敷地条件による建物配置になっており、現場周辺には常に多くの第三者が存在するという状況での施工であった。職長会のパトロールに加え安全に対して意見交流する場所を設け、社員だけでなく作業員も率先してより良い現場づくりに努めることで、元請・協力会社双方が働きやすい環境となり、災害防止の大きな礎とした。職長会チャットグループを活用し、朝昼夜の打合せを密に行い、それぞれの意見を共有することで、未然に危険な箇所を把握でき、その結果、全工期を通じて無災害を達成した。	
		株式会社 鴻池組事 (仮称)KIX13新築工事	淀川
		当店社は当エリアでKIX11・12・13と3期に亘り同種の工事を連続して施工し、KIX11は47万時間、KIX12は37万時間、KIX13は37万時間と通算6年で概ね121万時間の無災害を達成している。今回の工事KIX13は、周囲と高低差のある敷地内にデータセンターを新築する工事である。敷地周辺には住宅街や学校があり、騒音対策として工事車両ルートの選定や、速度制限、搬入車両の台数制限等を行った。現場の敷地面積に対し建物の建ぺい率が高いため、重機の配置や工事の順序を決める際、安全を考慮して平面的に作業エリアを分けることや安全通路等の区分を徹底し、工程管理を行った。その中で、延労働時間約37万時間の全工期無事故無災害を達成した。	

表彰区分	表彰基準	事業場名	所轄
優良賞	安全確保 対策	株式会社竹中工務店大阪本店 三菱倉庫(株)茨木5号配送センター建設工事	茨木
		当工事は稼働している茨木4号配送センターに隣接して建設する増築プロジェクトである。工事にあたっては安全を最優先すると共に第三者及び環境に対する配慮も合わせて要求された。このニーズに対応するため、作業所では作業所全員が「やさしくつくる」に徹し、全工期無災害を達成するという強い想いをスローガンに掲げ工事を進めた結果、延労働時間30万時間、全工期を通じて無災害を達成することができた。	

表彰区分	氏名	経歴	所轄
功績賞	本出肇	一般社団法人 大阪市北区医師会長 大阪府医師会産業医部会 副部長 天満地域産業保健センター長	天満
	森英光	一般社団法人 堺医師会 理事 堺地域産業保健センター 運営主幹	堺
安全衛生 推進賞	高田幸一	建災防大阪府支部大阪中央分会 常任幹事:12年、安全指導員:12年 前 大成建設 株式会社 関西支店 安全・環境部 安全・環境管理室長)	大阪中央
	吉井隆喜	建災防大阪府支部大阪中央分会 常任幹事:9年、安全指導員:9年 (元 株式会社 森本組 安全環境部)	
	内田浩司	建災防大阪府支部北大阪分会 常任幹事:10年、安全指導員:11年 (元 株式会社 前田組 安全衛生課長)	北大阪
	大村喜彦	建災防大阪府支部茨木分会 常任幹事、総務・広報班:5年、研修班:7年 (元 株式会社 住研 取締役副社長 工事事業本部本部長)	茨木
	山本重利	建災防大阪府支部茨木分会 常任幹事:5年、安全指導員:7年 (大昭工業 株式会社 土木部次長)	

大会宣言

全国安全週間は昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、今回で96回を迎えました。この間、労使が協調して労働災害防止対策を展開し、その努力により、労働災害は長期的には減少しているところですが、令和4年の大阪府内における労働災害については、死亡者数は前年を下回る51人と、13人の減少となったものの、休業4日以上の死傷者数は22,742人と前年の11,299人より大幅な増加となりました。

災害が大幅に増えた背景には、新型コロナウイルス感染症へのり患が大部分を占めていますが、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する災害の増加等も注視しなければなりません。

こうした状況を踏まえ、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安心して安全に働くことができる職場環境を築くためには、第14次労働災害防止推進計画に基づく施策を着実に推進するための不断の努力が必要です。

特に初年度となる令和5年度においては、死亡災害の撲滅を目指し、労使一丸となって労働災害防止活動を積極的に展開して参ります。

また、スローガンを「安全は人々を満足させ、輝く笑顔にします」として掲げた大阪独自の取組である「大阪発・新4S運動」を強力に推進し、同運動で示す「安全見える化活動」、「安全Study活動」、「リスク評価推進活動」、「命綱GO活動」の4つの活動に取り組み、すべての労働者の健康が確保され、安全に働くことができる職場の実現に向け、本日参加の事業場をはじめ、各事業場において安全衛生活動を一層充実させ、労働災害防止に取り組むことを誓います。

令和5年7月3日

大阪発・新4S運動推進大会

基調講演

「これからの安全衛生行政について」

～労働者が安全で健康に働くことができる環境の整備に向けて～

大阪労働局 労働基準部長 樋口 雄一

1 労働災害の動向

- ・労働災害発生状況の推移（全国）
- ・業種別・事故の型別 労働災害発生状況（全国）
- ・労働災害発生状況の推移（大阪）

2 大阪労働局第14次労働災害防止推進計画

(1) 死亡災害を5%以上減少させ、死傷災害の増加傾向に歯止めをかける。

→ 8つの重点対策に取り組みます。

- ① 自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発
(社会的に評価される環境整備、コラボヘルス、DXの推進)
- ② 労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進
(転倒災害、腰痛予防対策)
- ③ 高年齢労働者の労働災害防止対策の推進
(エイジフレンドリーガイドライン、保険者と連携したコラボヘルス)
- ④ 多様な働き方への対応や外国人労働者等の労働災害防止対策の推進
(テレワーク、副業・兼業、外国人労働者)
- ⑤ 業種別の労働災害防止対策の推進
(陸上貨物運送事業、建設業、製造業)
- ⑥ 労働者の健康確保対策の推進
(メンタルヘルス対策、過重労働対策、産業保健活動の推進)
- ⑦ 化学物質等による健康障害防止対策の推進
(化学物質、石綿・粉じん、熱中症・騒音、電離放射線)
- ⑧ 個人事業者等に対する安全衛生対策の推進

3 大阪発・新4S運動

- ・安全見える化活動
- ・安全Study活動
- ・リスク評価推進運動
- ・命綱GO活動

4 その他

- ・安全衛生関係法令の改正、施行について
化学物質の自律的管理のための改正法令が施行されます。
陸上貨物運送事業における労働安全衛生規則の改正（昇降設備・保護帽など）
職長教育の対象業種の拡大（食料品製造業・印刷業）
- ・働き方改革関連法について
中小企業・小規模事業主への確実な浸透、定着
大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター
- ・治療と仕事の両立支援
- ・全国安全週間について

特別講演

「世の中を変えたQRコードの開発・進化と普及活動の取組み」

株式会社デンソーウェーブ 主席技師
愛知県幸田ものづくり研究センター 技術顧問(兼任) 原 昌宏 氏

原 昌宏(はら まさひろ)氏

株式会社デンソーウェーブ 主席技師/愛知県幸田ものづくり研究センター技術顧問(兼任)

プロフィール

1980年 日本電装株式会社(現デンソー)入社
1984年 現在コンビニで使用されているバーコードハンディスキャナの開発・製品化
1988年 世界初の多段読取りハンディ OCR(文字認識)の開発
1994年 QRコードの発明
2001年 デンソーウェーブ出向
2002年 世界初の液晶表示対応 2次元コードリーダーの開発・製品化
2004年 (一社)電子情報技術産業協会(JEIDA)技術オブザーバ就任
2018年 愛知県幸田ものづくり研究センター技術顧問(兼任)

主な受賞歴

2000年 中日産業技術賞特別奨励賞
2002年 全国発明表彰発明賞、R&D 100 Awards(USA)
2004年 モバイルプロジェクトアワード最優秀賞
2007年 日本イノベータ大賞優秀賞
2012年 グッドデザイン賞 Best100
2014年 欧州発明家賞
2020年 市村産業賞 本賞
2023年 第113回恩賜賞・日本学士院賞